

～レンズ開発をサポートする最適なデータ処理ツール～



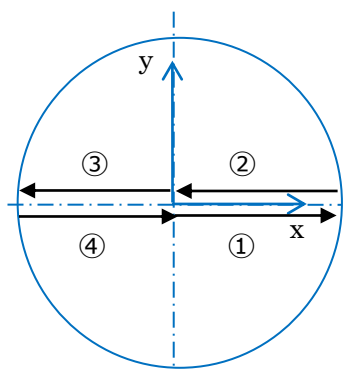
OptiMath



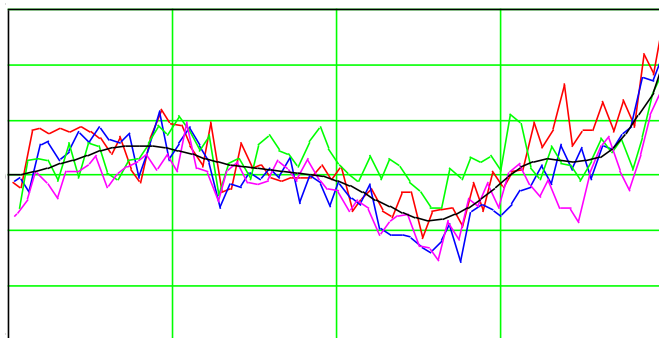
非球面測定データの処理と評価

「OptiMath 非球面測定の処理と評価プログラム」は、レンズ製作に欠かせない非球面測定において、設計値に対する誤差評価を行うソフトウェアです。

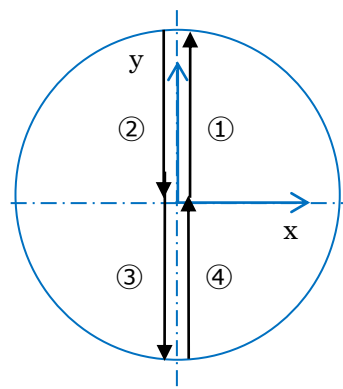
測定されたデータを平均関数化し、加工面のうねり、傾斜、曲率誤差を厳格に評価します。レンズ設計から製造部署までレンズ開発に携わる技術者にとってデータ処理ツールとして最適です。



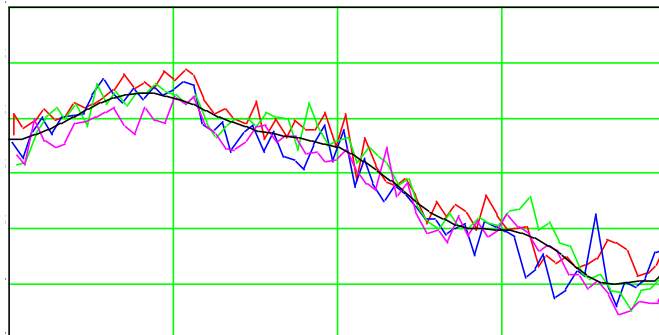
水平方向測定



関数 F'(曲率成分除去関数)表示



垂直方向測定



Mathcad の機能を使い手軽に式の変更や追加

数学ソフト Mathcad[※]の add-on ソフトウェアとしてワークシートで提供するため、Mathcad の機能を使い手軽に式の変更や追加などができ、計算式の理解も深まり教材としても役に立つ。

測定データのシミュレーション評価

測定されたデータを関数化しているため、設計にフィードバックしてレンズ系の性能変化を、シミュレーションにより評価できる。

加工面の誤差を厳格に評価

加工面のうねり、傾斜、曲率誤差を厳格に評価できるため生産工程での非球面評価の規格化にも役に立つ。

“「OptiMath」非球面測定データの処理と評価プログラム”計算手順

- 測定した形状を関数 Fitting
 - (1)設計形状入力
 - (2)測定データファイルより読込
 - (3)測定データ分割
 - (4)18 次べき関数による Fitting
- 4 関数を平均し、Fitting
- Fitting 制度の確認
 - (5)有効 Fit 関数を有効径×0.7 範囲で曲率成分除去し、関数 F'を算出
- 関数 F': $\delta F(h)$
- 平均 Fit 関数の係数
 - (6)関数 A': $\delta A(h)$ の算出(関数 F'を h で微分)
 - (7)関数 S': $\delta S(h)$ の算出(関数 A'を h で微分)
- 非球面形状評価 (水平・垂直断面)

【動作環境】

対応機種 WINXP / VISTA / 7

必要ソフト Mathcad ver12 以降

(使用上でご質問がありましたら、下記の方へご連絡お願い致します)

【お問合せ 販売／開発元】

株式会社レンズ設計支援

〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島 2-8-8

ワークステーション新大阪 1102 号室

電話 : 06-6990-7680

FAX : 06-6990-7681

E-mail : information@lenses-ds.co.jp

Web : <http://www.lenses-ds.co.jp/>



※Mathcad は、米国 Parametric Technology Corporation (PTC) の登録商標です。

※Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。